



所在地 〒554-0012 大阪市此花区西九条 4-3-41
 電話番号 06-6468-3731
 校長名 竹村 博次
 西九条小学校 検索



大阪市立 西九条小学校

学校概要

経済発展とともに地域の方々に教育への熱い機運が高まり、明治35年1月16日に大阪市西九条尋常小学校として開校されたのが本校の歴史の始まりです。その後、苦難の年もありましたが、西九条の教育は大勢の皆様の愛情にささえられ脈々と受け継がれてきました。現在、「強く、正しく、明るく」を校訓に、元気な子どもたちとともに全教職員一丸となって学校教育に取り組んでいます。今後、1世紀を超える歴史をもつ西九条の教育をさらに発展させていく決意を固めております。地域の皆様、保護者の皆様、これまでもましてお力添え賜りますようお願い申し上げます。

標準服



運営に関する計画(中期目標)

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現・中期目標

- 平成29年度～令和2年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年95%以上にする。
- 毎年度末の校内調査において不登校の児童(生徒)の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童(生徒)数を、毎年、前年度より減少させる。
- 令和2年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえ、当てはまる)」と答える児童(生徒)の割合を90%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組・中期目標

- 令和2年度の小学校学力経年調査・中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、平成28年度より向上させる。
- 令和2年度の小学校学力経年調査・中学校チャレンジテストにおける正答率74%以下の児童(生徒)を、いずれの学年も平成28年度より4ポイント減少させる。
- 令和2年度の小学校学力経年調査・中学校チャレンジテストにおける正答率75%以上の児童(生徒)を、いずれの学年も平成28年度より4ポイント増加させる。
- 令和2年度の小学校学力経年調査(校内調査)における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して「している(どちらかといえ、している)」と答える児童(生徒)の割合を平成28年度より増加させる。

施策7 健康や体力を保持増進する力の育成・中期目標

- 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である50m走と反復横とびの記録を、令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、平成28年度より50m走0.4ポイント、反復横とびを4ポイント向上させる。

全国学力学習状況調査

※平成30年度の平均正答率

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
	65	52	64	54	55

※調査結果の正答率数値は、学力を測る一つの物差しではありませんが、単年度結果であるこの数字をもって、現在の本校総体としての「学力」を示すものではありませんのでご注意ください。

【国語】A問題において、「登場人物の心情について、情景描写を基に捉える」問題の正答率は高かった。一方、漢字の書き取り問題の正答率が低い。B問題においては、「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる」「推薦するためには、他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉える」「目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む」問題の正答率は高く全国平均を上回っている。国語科の研究活動や読書指導が効果をあげている。

【算数】A問題においては、特に「十進位取り記数法で表された数の大小について理解している」「異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している」「単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している」問題の正答率は高く全国平均を大きく上回った。一方、図形の角の大きさを求める問題の正答率は低かった。B問題においては、全体的に正答率が高く、特に「折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断することができる」問題の正答率は高く全国平均を10ポイント以上上回った。問題解決学習を基盤とした授業改革や習熟度別授業が効果をあげている。

【理科】特に「堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している」「より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関連付けながら、分析して考察できる」問題については正答率は高く全国平均を上回ったが、他の問題については全体的に正答率は低かった。

全国体力・運動能力 運動習慣調査

※平成30年度の調査結果

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
男子	14.29 kg	16回	34.03 cm	33.82回	36.85回	10.08秒	139.1 cm	16.86 m
女子	15.16 kg	16.42回	36.48 cm	36回	38.52回	9.94秒	144.47 cm	13.25 m

男子の長座体前屈については、大阪市・全国と比べても得点が高く、柔軟性が高い結果がでている。しかし、その他の種目については、全体的に、全国・大阪市の平均を下回っている。

本年度の結果をみると、反復横跳びや20mシャトルランなど、持久力に課題がみられる。体力合計点においては、男子・女子ともに、概ね全国平均より数ポイント下回っている。

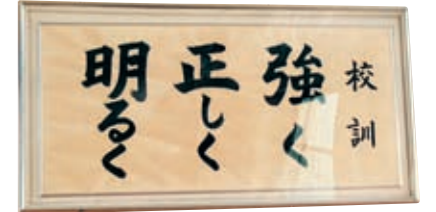
教育目標

豊かな心を持ち、
たくましく生きる子どもを育成する

子どもが安心して成長できる安全な社会の実現
心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

校訓

- 強く — 心も体も健康な子ども
- 正しく — ものごとを正しく判断し、主体的に考える子ども
- 明るく — 明るさ、やさしさをもつ子ども



児童会活動

西九条小学校では、全校児童を36班に分けて活動する「なかよし班活動」を行っています。6月のふれあい祭りでは、自分たちでお店を工夫して考え、班のみんなでお店を回る活動を行います。

他学年と交流することの楽しさを感じると共に、自主性、責任感、思いやりの気持ちを育むよい機会となっています。

4～6年生の各学級の代表で構成された代表委員会では、運動会やふれあい祭り等の開閉会式の準備や進行を行っています。他にも、あいさつ運動や赤いはね共同募金などの取り組みも積極的に行っています。



ふれあい祭り



ふれあい祭り

西九条ジュニアウインドオーケストラ

西九条ジュニアウインドオーケストラは、西九条小学校の創立100周年を記念して作られました。4年生以上の希望者で構成され、現在は総勢45名で楽しく元気いっぱいがんばっています。地域の皆様に愛されるバンドになると、日々の練習に励んでいます。

主な活動としては、校内で行うサマーコンサート、大阪市の小学校5校で合同で行うほんわか音楽祭、地域からの依頼演奏、そして1年間の集大成の3月初旬予定の定期演奏会などです。練習がたつらくなるときもありますが、みんなで心をつにし、いい演奏ができたときはすごくうれしくてつらいことも忘れてしまいます。そんな楽器を演奏することが大好きな仲間といっぱいのウインドオーケストラです。是非、演奏会に足を運んでいただき、私たちの演奏を聴いていただくと嬉しいです。



ジュニアウインドオーケストラ



ジュニアウインドオーケストラ